

## 会 議 録

### 1 会議名

平成 29 年度第 7 回新道区地域協議会

### 2 議題（公開・非公開の別）

(1) 管内視察研修の振り返りについて（公開）

(2) 町内会長協議会との情報交換会の実施について（公開）

### 3 開催日時

平成 29 年 12 月 5 日（火）午後 6 時から午後 6 時 25 分まで

### 4 開催場所

新道地区公民館 多目的ホール

### 5 傍聴人の数

なし

### 6 非公開の理由

なし

### 7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委 員：秋山茂（会長）、浦野憲一（副会長）、金井秀雄、金子八重子

佐藤順治、高橋由美子（副会長）、塚田みさ尾、船崎聡

水野恵一郎、森紀文、吉田文男、吉原ゆかり（欠席 2 人）

・事務局：中部まちづくりセンター：山田センター長、野口係長、田中主事

### 8 発言の内容

#### 【野口係長】

・会議の開会を宣言

・上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 2 項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

・上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 1 項の規定により、会長が議長を務めることを報告

#### 【秋山会長】

・会議録の確認：金子委員

議題「(1) 管内視察研修の振り返りについて」、事前に振り返りシートの記入をお

願ひしてあるので、数人の委員から発表していただく。

#### 【森委員】

①については、例えば、平成 26-①中田新田の「子供から老人まで（3 世代）を含め全ての人との交流事業」については、事業終了後 3 年が経過しているが、有効に活用されているのかの情報の報告が、年に 1 回程度あってもよいのではないかと感じた。

②については、とよば町内会の平成 29-追 4 と追 5 は不採択になった事業だが、神社や市の管理する公園ということで、管理者の整理が必要だということで、神社庁や行政の了解を得た後に申請すれば、採択となるのではないかと考えた。

③については、考えが及ばなかったので記入していない。

#### 【水野委員】

①に関しては、現在も明らかに地域のために役立っている事業が多く、感心した。ただ、中田新田の遊具は使用感がなく、他の公園等に寄贈してもよいのではないかと感じた。採択され、施工された過去の物品等の要不要の判断も協議会から提案やアドバイスをできたらよいと感じた。

②に関しては、不採択になってしまった事業は、来年度は是非また提案してきて欲しいと思った。ヒアリングの質問のときに、協議会から否定的な考えを提案者に言うのではなく、必要性や将来性を質問すれば、もっと創造力ある地域にしていける気がする。

③については、巡回した事業とは異なるが、これまで施工したグリーンラインの劣化が色々なところで目立っていたので、町内会長協議会との情報交換会で、過去に施工されたグリーンラインの劣化状況の確認や再施工を促してもよいのではないかと考えた。

地域の活性化はもちろんのこと、安心安全のためにできることをもっと探っていきたいと思った。

#### 【金子委員】

①については、今回の巡回だけで、現状や実態が私には見えてこなかった。採択された事業に対しては、1 年間だけでも感想等を聞けたらよいと思った。

②については、不採択事業に対して、現地で検証して、他の委員から町内会長に対しての適切なアドバイスがあり、提案者からの意見も聞けてとてもよかった。私には今後の採択の審査につながりができたと思った。

③については、今回の巡回は、ほぼ町内の人たちには喜ばれているような感じがしたが、地域ごとの活動は得られないと思った。もう少し町内会長との連携が欲しいと思った。また、管内視察は毎年度行いたいと思った。

**【秋山会長】**

今ほど、代表して3名から発表していただいた。閉会后、振り返りシートを事務局に提出していただき、町内会長との情報交換会の資料としてとりまとめていただく。以上で管内視察の振り返りを終了する。

次に「(2)町内会長協議会との情報交換会の実施について」、事務局に説明を求める。

**【野口係長】**

- ・資料No.1、アンケート（案）により説明

**【秋山会長】**

今の説明に対して、質疑等ないか。

**（「なし」の声）**

次に、開催日を決めていく。

**— 日程調整 —**

日程調整の結果、1月24日（水）で開催することにする。開始時刻は午後6時で、芙蓉荘で行う。

その他、次回開催日の確認について事務局に説明を求める。

**【野口係長】**

- ・次回開催日について説明

**【船崎委員】**

町内会長との情報交換会が1月24日なので、それよりも前に協議会をしたほうがよいと思う。特に、平成30年度の地域活動支援事業の事業採択についての話であれば、町内会長も聞きたいと思う。

**【野口係長】**

アンケートの案にあったと思うが、地域活動支援事業の見直しや、新道区の固有のルールについて申請に支障があるかないか等を問うている。情報交換会において、アンケート結果を集約したものを材料にして議論をしていただく。その後、制度の中に組み込むかどうかを、31日の地域協議会でやれたらよいと思っている。順番としては、町内会長と情報交換をして、それを地域協議会で整理して、方向付けをしていただく

という流れである。

**【船崎委員】**

それも方法のひとつだが、その前に今年度の採択結果についての反省をより深くやり、それを町内会長協議会と情報交換して、そこで出た意見や要望について31日の地域協議会で審議するのならわかるが、どんなものか。

**【秋山会長】**

他の委員はどう考えるか。

**【吉田委員】**

事務局の考えで良いと思う。町内会長から提案が出てくるだろうから、それを踏まえて31日の地域協議会で整理するのが最善だと思う。

**【船崎委員】**

アンケートを12月22日までに送ってもらうのならば、その後事務局はすぐに集計できる。できたら情報交換会の前に1回アンケート結果を委員で確認して、その上で町内会長との話し合いをした方が良いのではないか。

**【野口係長】**

アンケート結果は情報交換会の審議の材料であって、事前に地域協議会で揉む必要はないと考えていた。

**【船崎委員】**

できたら事前に出してもらいたい。

**【野口係長】**

開催日の1週間くらい前に、次第と併せて資料として送付することでよいか。

**【船崎委員】**

それでよい。

**【水野委員】**

情報交換会の開始30分くらい前に地域協議会委員が集まって、それをもとに少し話しておけばよいのではないか。去年も時間が足りなくなったので、そういうことの解決にもなるかと思う。皆さんの都合もあるのだが、いかがか。

**【秋山会長】**

少し早めに集まるかどうか。

**【船崎委員】**

そんなに地域協議会委員のなかで諮らなくてもよい。

**【浦野副会長】**

町内会長協議会の考え方と、地域協議会委員との考えは100パーセント一致しない。情報交換会の結果、町内会長協議会から申し出があれば、来年度の採択方針等に組み込むかどうかを地域協議会で審議すればいいと思う。なので、事前に集まる云々ではなく、意見が食い違うことがあれば、よい意見交換会だということだと思うので、意見交換会で出た意見から、地域協議会にて方向性を見出すことでよいのではないかと。

**【秋山会長】**

他に意見はあるか。

**（「なし」の声）**

それでは、事務局でアンケート結果を集計したものをもとに、1月17日の情報交換会に臨み、その結果を以って、1月31日の地域協議会で見直しするということがよいか。

**（「よし」の声）**

それでは事務局で集計し事前に郵送したものを確認し、31日の地域協議会に向けていきたいと思う。

**— 日程調整 —**

- ・ 次回の協議会：1月31日（水）午後6時30分から 新道地区公民館
- ・ 閉会を宣言

**9 問合せ先**

自治・市民環境部 自治・地域振興課 中部まちづくりセンター

TEL：025-526-1690（直通）

E-mail：chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

**10 その他**

別添の会議資料もあわせてご覧ください。